

第62回広陵町文化祭開催結果

1 日程

令和5年11月3日(金・祝)～5日(日)
10:00～16:00(最終日は15:00まで)

日程	31日(火)	1日(水)	2日(木)	3日(金・祝)	4日(土)	5日(日)	6日(月)
	準備期間			文化祭期間		撤収	
展示 中央体育館	会場設営	会場設営 手直し・作品 搬入受入準備	作品搬入 飾り付け	展覧会	展覧会	展覧会 作品搬出	会場撤収
開会式 活動発表 かくや姫 ホール				開会式 活動発表	参加体験型 教室		休館日

2 開会周知

・町ホームページ

・広報「こうりょう」

出展募集記事掲載(9月号)
文化祭開催チラシ挟み込み(10月号)

・ポスター掲示

各区・自治会長あてに掲示依頼。
公共施設、学校・園、南都銀行(馬見支店、
箸尾支店)、農協(広陵支店、広陵北支店)、
郵便局(疋相、瀬南、真美ヶ丘北、真美ヶ
丘南、箸尾)、商業施設(イズミヤスー
パーセンター、エコーン・マミ、スーパーエ
バグリーン、DCM広陵店)



3 開会式(3日)

● 式典

- 1 主催者あいさつ
- 2 来賓祝辞
- 3 来賓紹介
- 4 主催者紹介
- 5 ポスターデザイン表彰式
- 6 開会宣言



ポスターデザイン表彰式

採用作品1点、入選作品
10点を選考し、対象者を
表彰。

副賞として図書カード
(採用者3,000円、入選者
1,000円)を贈呈。

応募作品は、プリントア
ウトして全作品を文化展覧
会で展示。

応募作品数: 125作品 採用: 1点 入選: 10点

【採用作品】1点

広陵中学校 2年
竹村桃音さん



○広陵中学校 1,21作品
○真美ヶ丘中学校 4作品
計 125作品
※今回真美ヶ丘中学校は希望
書が不足したため、作品数が
少なくなっている。

【入選作品】10点



第6 2回広陵町文化祭開催結果

資料 1 - 1

4 公民館活動発表会（3日）

公民館育成クラブや公民館教室参加者による公民館活動の発表の場として、かぐや姫ホールで開催。運営は、広陵中央公民館活動発表会実行委員会が主催で開催。

24団体が出演 **370**人が来場



令和5年度 第41回 広陵中央公民館活動発表会

令和5年11月3日（金・文化の日）午前10時～午後4時10分予定 会場：広陵中央公民館かぐや姫ホール

私たちは、さまざまな分野において学習し、お互い親睦・交流を深めながら活動を通じ、日ごろの活動の集大成として、開催させていただきます。皆さま、最後までご覧いただきますよう、よろしくお願いいたします。【出演者一同】

NO	出演クラブ	発表時間	演目	NO	出演クラブ	発表時間	演目
	開会あいさつ	10:00		11	新舞踊 花扇会	13:00	甲州路/萬代の舞
1	広陵中学校吹奏楽部		ホール・ニュー・ワールド/銀河鉄道999	12	子ども舞踊教室		長唄 雷娘/古城
2	広陵ヒカケアロハフレイズ		エホイカピリ/ピリアロハ	13	ヒカケレイラニフラスタジ		スイート/レイモキハナ/アヒウェラ
3	お琴教室（町主催）		かえるのうた/もみじ	14	広陵民謡クラブ		関の精つり唄/波海前/鈴鹿馬子唄/初瀬道分/伊勢音頭
4	お琴クラブ協会の会		さくら舞曲/富士	15	英語流合奏楽隊		四方切/白虎隊
5	女声コーラスはなみずき		YELL（エール）/世界がひとつになるまで	16	R/クラブ（慶協会）	14:10	春の雷/女人花/艶/眺られて/桃太郎/月の砂漠/月ののけだ
6	藤 踊 会	11:20	清元 お祭り/長唄 手踊子/長唄 鼓の学遊	17	華曲クラブ「影の紙」		故郷のうた
7	響付けクラブ・響付講座（町主催）		袋帯と名古屋帯	18	コーラスかぐや姫		福楽松/女声合唱のための麗麗メドレー「いつの日か」より「星の秋/あの空」この星とよば
8	マイレッシングフラスタジ		フニ カウアイ/カレナ カイ	19	吟道同心流広陵地味道合吟吟クラブ		構成/近江八景
9	女声コーラスティンカーベル		ボクはウタ（歌）/夢-すべての人の心に花を-	20	日本舞踊教室（町主催）		卯年の春/雫
10	カラオケ広げまわり会		木曾の雨/天空の城/再会酒場	21	雑謡・唱歌「ベニシモ」	15:20	春の小川/花火/冬景色/いのちの歌
				22	吟道習水月八潮吟吟会広陵吟吟クラブ		河野雅也/常盤屋を知らぬ間に開す/春の花を尊ぶ/鶴屋上人堂中歌の頃に開す
				23	舞・雑奏多の会（日本舞踊）		娘・道成寺/堀内おとこ節/風雷流れ旅
				24	みやびの会		高家列車は行く/上を舟いで歩こう/なごり雪
					閉会あいさつ	16:05	

おつかれ様です！ >>> 昼食休憩30分（飲食は不可です）<<<

5 参加体験型教室（4日）

公民館諸室及び駐車場仮設テントを会場に、公民館育成クラブの活動体験や文化財ガイドの会による鋳造体験、各種団体による啓発や模擬店が行われ、それらのブースを巡るスタンプラリーも開催。

運営は、広陵中央公民館活動発表会実行委員会が開催。

スタンプラリー参加者 **480**人



6 文化展覧会（3日～5日）

(1) 来場者数（文化展覧会）

2,448人

※ 新型コロナウイルス感染症による制限なしの開催となり、模擬店や野点（お茶席）を再開。

また、格技場で園児作品展も再開したことから、多くの観覧があった。しかし、5日が日曜日にもかかわらず、来場者数が伸びなかった。背景には、会場決定が遅れ、催しを実施しなかったのも原因の一つとして考えられる。

日付	観覧者	日程比率
3日（金・祝）	1,069人	43.7%
4日（土）	878人	35.8%
5日（日）	501人	20.5%
合計	2,448人	100.0%

(2) 出展数

	出展数	部門比率	文化協会出展数	文化協会の割合
絵画の部	59点	11.9%	36点	61.0%
俳画の部	48点	9.7%	16点	33.3%
手芸の部	50点	10.1%	11点	22.0%
書道の部	26点	5.3%	10点	38.5%
陶芸の部	31点	6.3%	-	-
写真の部	40点	8.1%	34点	85.0%
工芸の部	31点	6.3%	-	-
俳句の部	33点	6.7%	-	-
華道の部	19点	3.8%	-	-
パッチワークの部	27点	5.5%	-	-
トールペイントの部	11点	2.2%	-	-
短歌の部	12点	2.4%	-	-
その他の部	25点	5.1%	-	-
組紐の部	5点	1.0%	-	-
一般作品小計	417点			
茶道の部	28点	5.7%		
一般小計	445点		107点	24.0%
中学生作品展	50点	10.1%	-	-
合計	495点		107点	24.0%

※令和4年度は、手芸の部に分類

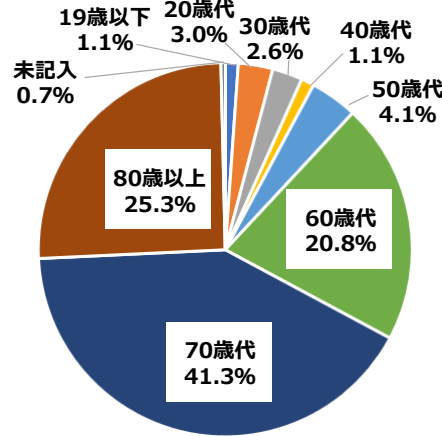
第62回広陵町文化祭開催結果

資料 1 - 1

(3) 一般の部出展者の状況

ア 出展者の年齢区分

年齢区分	出展者数	割合
19歳以下	3人	1.1%
20歳代	8人	3.0%
30歳代	7人	2.6%
40歳代	3人	1.1%
50歳代	11人	4.1%
60歳代	56人	20.8%
70歳代	111人	41.3%
80歳以上	68人	25.3%
年齢未記入	2人	0.7%
合計	268人	100%



70歳代が最も出展者が多い。60歳代から80歳以上の年齢区分が87.4%を占める一方、それ以外の年齢層の出品が少ない。特に19歳以下及び40歳代の出展が少ない。

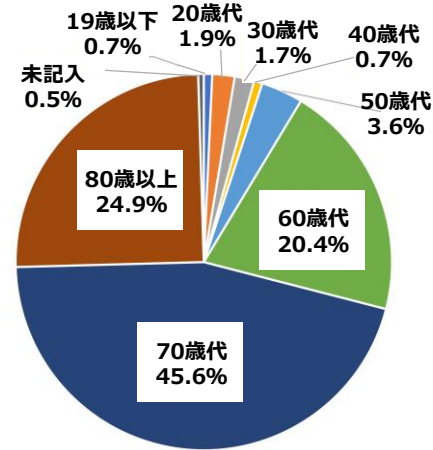
イ 出展経験

出展回数	人数	割合
2回以上	233人	86.9%
初出展	34人	12.7%
未記入	1人	0.4%
合計	268人	100%

リピーターが多く占める一方、初出展が12.7%あり、一定の新規出展者がある。今回、初めての調査であったが、継続的に動向をつかみ、新規出展に結びつく取組が必要。

ウ 年齢別出展数

年齢区分	出展数	割合
19歳以下	3点	0.7%
20歳代	8点	1.9%
30歳代	7点	1.7%
40歳代	3点	0.7%
50歳代	15点	3.6%
60歳代	85点	20.4%
70歳代	190点	45.6%
80歳以上	104点	24.9%
年齢未記入	2点	0.5%
合計	417点	100.0%



エ 複数出展者の状況

年齢区分	複数出展者数	複数出展割合	出展者計
19歳以下	0人	0.0%	3人
20歳代	0人	0.0%	8人
30歳代	0人	0.0%	7人
40歳代	0人	0.0%	3人
50歳代	4人	36.4%	11人
60歳代	29人	51.8%	56人
70歳代	78人	70.3%	111人
80歳以上	36人	52.9%	68人
年齢未記入	0人	0.0%	2人
合計	147人	54.9%	268人

(4) 福祉施設関係出展まとめ

部門	施設名等	点数	備考
その他の部	すみれ作業所	1	合同作品（貼り絵）
	第2すみれ作業所	1	個人作品（書道）
	サロンふきのとう	16	個人作品（小物）
	グループホーム ふれあい広陵	1	合同作品（貼り絵）
	大和園ちあふる	2	合同作品（折り紙・塗り絵）
	大和園ちあふる（個人）	2	ちぎり絵
工芸の部	第2すみれ作業所	1	個人作品
	第2すみれ作業所	2	合同作品

施設区分	点数
障がい者施設	5点
高齢者施設	21点
計	26点

個人作品だけでなく、合同作品による出品もある。

コロナ禍前から出展のある施設からの作品に加え、新たな施設からの出展があったが、町内の多くの施設からの出展とまではいえない。

作品の搬出入等の負担はあるが、多くの方に作品や施設のことを知ってもらえる機会にもつながるため、より多くの出展につなげられるよう、文化展覧会の出展について、広報周知するとともに、出展に当たっての障壁となっているものについて把握し、解決するよう進める必要がある。

7 園児作品展（3日～5日）

町内幼稚園、こども園及び保育園児童の作品（0～2歳児は保育の様子分かる展示）を中央体育館格技場に展示。コロナ禍中は、それぞれの園内での展示であったが、制限が解除されたことから、作品展を再開。

新たに開園した畿央大学附属広陵こども園の作品が加わった。



8 今後の検討課題

令和5年度から文化展覧会の出展申込書に年代区分の記載を求め、一般の部の出展者の年代データを集めたところ、若い世代から40歳代にかけての出展が少ないことが明らかとなった。

作品作りのための時間を作り出しにくい年代ではあるが、若い世代が作品を出してみようと思う仕掛けづくりが必要と考える。

- ・若者が出展してみようと思う部門の新設
(デジタル作品、デザイン、イラスト作品等)

- ・畿央大学や大和広陵高校への出展呼びかけ。
書道部の書道パフォーマンスや美術部によるアートパフォーマンス、体育観客席（250席）を用いたアート等、目を引く作品を採り入れる。